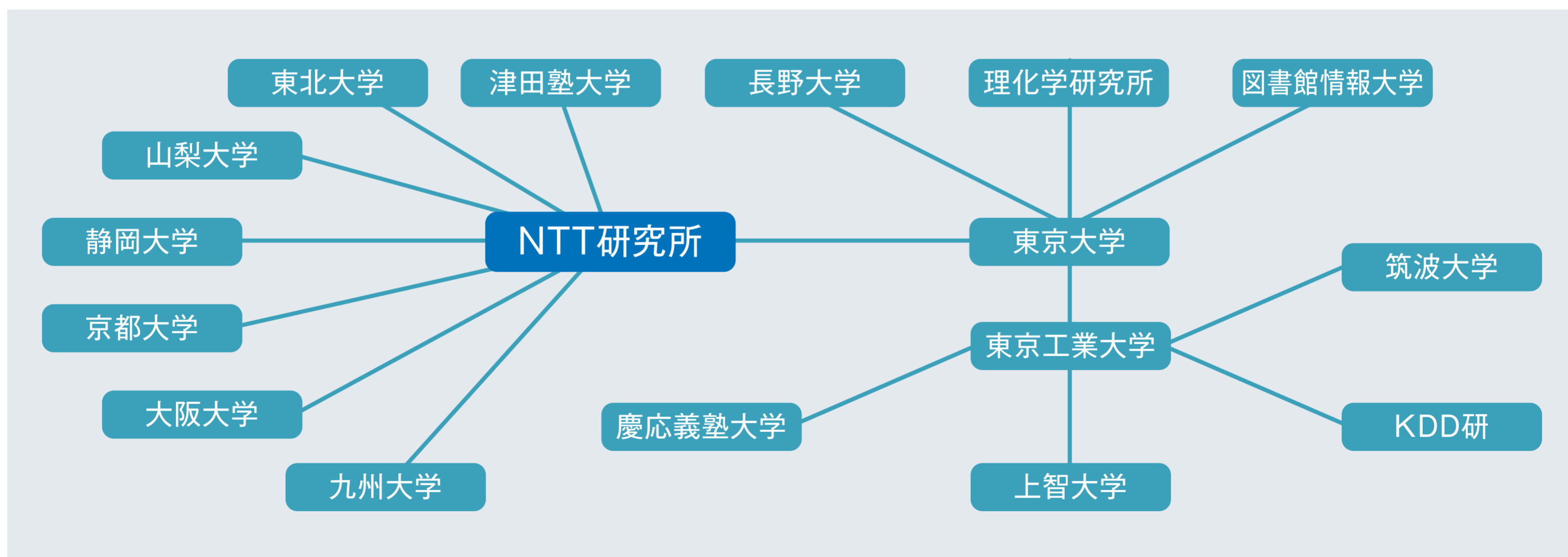


日本の学術・研究ネットワークの接続

Interconnecting academic organizations in Japan

NTTのJUNET参加とIMnetバックボーンの構築・運用研究への貢献

IP接続によるコンピュータ・ネットワークに先駆け、日本国内ではUUCP(Unix-to-Unix CoPy)プロトコルを用いた研究用ネットワークJUNET (Japan University NETwork)が構築されました。NTT研究所も1985年にはJUNETに参加し、そのバックボーンの一部として大きな役割を果たしました。1994年、国公立試験研究機関ならびに支援機関における研究情報流通の促進、研究情報基盤の共有化を目指して、省際研究情報ネットワーク(IMnet)が設立されました。NTT研究所はバックボーンの構築・運用研究を通じて、IMnetのISPとしての側面を支えるとともに、経路制御、マルチホーム接続、トラフィック分析などその後のインターネット運用につながる数多くの知見を得ました。



JUNET接続図(1986年頃の主な接続図) (徳田雄洋, bit 1986年臨時増刊7月号, p.325より)

IP : Internet Protocol
IMnet : Inter-Ministry research information network
ISP : Internet Service Provider